

動物も、私も**元気**になる動物園を目指して!!

こども会議 動物園**元気**新聞

5年生
宇治蓮実



11月12日、熊本地震で傷ついた熊本市動植物園に行きました。園内は歩きづらく、おりもこわれて傾いています。獣医師の上野さんに詳しくお話を聞きました。

地震後、カバはプールにもぐったまま、ゾウは目の充血、こうふん、シマウマはけいはい音の発声、マンドリルやチンパンジーは指にきずができたそうです。

動物の心に よりそって...

動物たちも突然の大地震に心も体も傷つきました。今、獣医師さんやスタッフの方たちは、動物の心のケアを一番に考えています。無理をさせない、体をゆるめる、声をかける。そして動物園の部分開園など出来ることから少しずつ取り組んでいます。ひなんしている動物も帰ってきて、また元気な姿を私たちに見せてくれると信じています。

私が考える 未来の動物園

ワクワクするような、明るく楽しい動物園をめざしたいです。動物一頭一頭が広いおりの中で快適に過ごせるようにして、思う存分体を動かせるようにする。そして動物が主役のお祭りを開き、いついっつもみんなが笑顔で元気になれる動物園が出来るようにしたいです。

ドキドキしながら発表しました



私の考える未来の動物園は

動物が「思いっきり楽しんで遊んで」
たくさん運動できる動物園。
そしてそれを見れる動物園。

そのために次のアイデアを提案します

動物一頭一頭のおりを広くし、おりの中に木を植え
たり、タイヤやロープをぶらさげたりしていろいろな
方法で遊べるようにする。お客さんに特別なおもちゃ
などを一人ずつ投げても良い場所から投げてもらおう。
をうくりそこから

名前

宇治 蓮実